

子どもの権利

～その理解と実践に向けて～

弁護士・元国連子どもの権利委員会委員
大谷 美紀子



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1 子どもの権利とは
- 2 子どもの権利条約の考え方・内容
- 3 こども基本法成立の意義
- 4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義
- 5 子どもの権利が守られた学校とは

1 子どもの権利とは

- 2 子どもの権利条約の考え方・内容
- 3 こども基本法成立の意義
- 4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義
- 5 子どもの権利が守られた学校とは

1 子どもの権利とは

子どもの権利条約が子どもに保障した子どもの人権

人権とは

➡世界中ですべての人に同じように保障される
人間としての権利

国連が世界人権宣言や条約を作ってきた

-
- 1 子どもの権利とは
 - 2 子どもの権利条約の考え方・内容**
 - 3 こども基本法成立の意義
 - 4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義
 - 5 子どもの権利が守られた学校とは

2 子どもの権利条約の考え方・内容

子どもも人間として、大人と同じように人権がある
➡明らかにしたのが**子どもの権利条約**

子どもは18歳になるまで、心身ともに発達途上
➡**人権の主体**として尊重されると同時に、
特別の保護を受ける権利がある

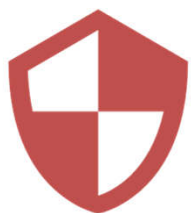
2 子どもの権利条約の考え方・内容



教育



健康



暴力から
守られる



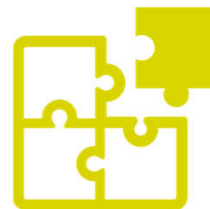
親から引き
離されない



食料



住居



遊び

2 子どもの権利条約の考え方・内容

4つの一般原則

- ・ **生命、生存及び発達の権利** (命を守られ成長できること)
- ・ **差別の禁止** (差別のないこと)
- ・ **子どもの最善の利益** (子どもにとって最もよいこと)
- ・ **子どもの意見の尊重** (意見を表明し考慮されること)

子どもの権利について考えるときに

大切な4つの考え方

差別のないこと

すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されません。



命を守られ成長できること

すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。



子どもにとって最もよいこと

こどもに関することが決められ、行われる時は、「そのこどもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。



意見を表明し参加できること

こどもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、大人はその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮します。



2 子どもの権利条約の考え方・内容

**条約を批准した国は、
条約の内容を実現する義務を負う**

➡法律や政策の制定・改定、
条約の広報、関係者への研修などによって、
子どもの権利を実現する義務がある

※日本は1994年に子どもの権利条約を批准

-
- 1 子どもの権利とは
 - 2 子どもの権利条約の考え方・内容
 - 3 こども基本法成立の意義**
 - 4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義
 - 5 子どもの権利が守られた学校とは

3 こども基本法成立の意義

国連子どもの権利委員会

- ・ 条約批准国が条約を実施しているかを監視。
- ・ 定期的に国からの報告書を審査し、実施が足りない部分について勧告を行う。

➡日本はこれまでに4回審査を受けて、関係する法律を改正するなどして取り組んできた。

3 こども基本法成立の意義

- ・子どもの権利条約の柱となる考え方をあらゆる法律・政策に組み込み、
社会での子どもに対する考え方・接し方に浸透させるための基本法が必要

➡こども基本法の成立は重要

※こども家庭庁も発足

-
- 1 子どもの権利とは
 - 2 子どもの権利条約の考え方・内容
 - 3 こども基本法成立の意義
 - 4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義**
 - 5 子どもの権利が守られた学校とは

4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義

条約の内容を実現するためには

- ・ 子ども自身、子どもに関わるすべての大人が子どもの権利を理解し、子どもとの関わりの中で実践することが必要。

4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義

子どもたちが子どもの権利を学ぶことは

- ・ 自分が大事な存在であること
- ・ 困ったことがあれば助けを求めていいこと
- ・ 他の人もみな大事な存在であること
- ・ どんな大人を信じてよいのか…

などを知ることにつながる

4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義

子どもの権利を学ぶことは

- ・ 知識として知るだけでなく、
考え方や人との接し方に活かしていくこと。

4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義

子どもは 周りの大人の言動から吸収し、影響を受ける

- ・先生たちは、子どもの権利を教え、子どもたちと接するうえで、子どもの権利を**知り、理解し、実践する**ことが重要。
- ・先生たちが子どもの権利を実践できるよう、**先生たちへのサポート**も重要。

-
- 1 子どもの権利とは
 - 2 子どもの権利条約の考え方・内容
 - 3 こども基本法成立の意義
 - 4 子どもたちが子どもの権利を学ぶ意義
 - 5 子どもの権利が守られた学校とは**

5 子どもの権利が守られた学校とは

- ・ 子どもの成長・発達、教育、遊び、情報へのアクセスの場
- ・ 安心・安全で暴力から守られる
- ・ 子どもの意見が尊重される
- ・ 差別がない